

「世界津波の日」2018 高校生サミット in 和歌山

に向けての和歌山県内高校生事前学習会

秋に行われます「世界津波の日」2018 高校生サミット in 和歌山に向け、和歌山県内の高校生が集まり、事前学習会を行いました。

【第1回学習会 2018.8.3】

ねらい：英語によるプレゼンテーション・質疑応答・討論の基礎を学ぶ。

和歌山県内の高校生が集まるのは今回が初めてでした。そこで、アイスブレイクを兼ねて自己紹介をしました。



JICA 関西の澤田さんに、海外参加者を迎えるに当たっての心構えや相手の立場に立って考えることの大切さ等について講演をしていただきました。

午後は、和歌山県教育委員会にバトンタッチし、「Effective Presentations」の講義と、ワークショップ「Let's enjoy a discussion!」を実施しました。



【第2回学習会 2018.8.7】

ねらい：「世界津波の日」制定の由来となった濱口梧陵の精神や津波の脅威と対策について学ぶ。

濱口梧陵ゆかりの広川町にある「稲むらの火の館」にて行いました。



まず、稲むらの火の館の嶋山館長から濱口梧陵の偉業や広村を襲った大津波についてのガイダンスがあり、その後、館内を見学しました。

午後には、和歌山地方気象台の山田気象台長から、「巨大地震・津波の発生メカニズムやその被害について」の講義がありました。



次に、語り部さんの案内で、濱口梧陵ゆかりの広村堤防や耐久社、廣八幡神社にフィールドワークに出かけました。



最後に、学んだことをシェアして、学習会を終わりました。

